

学 年 4-3  
氏 名 佐藤凜桜

題 名  
電気と私

本 文 20行程度

私は電気がある場所で作れるということに興味を持ちました。 その場所とはごみ処理施設です。 ごみ処理施設ではどのように電気が作られているか調べてみました。 まず、ごみを燃やしてできる高熱の蒸気で、タービンという機械を回して発電させます。 どのくらい発電できるかというと、年間9,207ギガワットです。 1世帯の年間電力消費量を2,970キロワットとすると、約310万世帯をまかなえることになります。 ごみ処理場で出た電気はごみ処理施設の電気に使われています。 この活動をすることで、廃棄物を再利用できるので、資源を有効活用でき、地球温暖化の原因である二酸化炭素の排出量を削減できます。 こんなにも良いことがあることをよく考えたなあと思いました。 ゴミ処理場では電気を作る活動をしているので、私の家では、節電をしようと思います。 私の家では、こたつや、部屋の電気をつけっぱなしにしている時がよくあります。 なので、いつもは家の人に言われないと出来なかったけど、このことを知ったので、いつもよりも節電に心がけています。 これからの季節は、暖房や、ヒーターをよく使います。 だから、電気をよく使うので、ヒーターを灯油ストーブにしたり、こたつは、あまり強くしないなどの節電をしたいと思います。 あと、わたしは、スマホを使っているので、充電のときに、電気をつかいます。 なので、充電をしなくてもいいように、あまりスマホをつかわず、使っていないときは消すなどもできます。 ところで、学校の先生たちは、節電をしようといいますが、なぜ節電をするのかわたしはきになり、調べてみました。 なぜ節電をするのかというと、限りあるエネルギー資源がなくなってしまうことをふせぐため、停電を防ぐなど、といったことがあるからです。 わたしは、このように電気というものはとても大切に、自分のすこしの行動で、地球が救われるということを知ったので、これから電気を大切にしていきたいなとおもいました。